

にゆうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略
検証委員会 資料

平成30年3月30日

目次

I. にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略について

- 1. にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略の概要 1
- 2. 効果検証について 2

II. にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略の効果検証について

- 1. 平成29年度効果検証の概要 3
- 2. 基本目標ごとの効果検証 5
 - 基本目標1 5
 - 基本目標2 11
 - 基本目標3 15
 - 基本目標4 21

III. 国の支援制度を活用した事業の効果検証について

- 1. 地方創生先行型交付金（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金） 27
- 2. 地方創生加速化交付金（平成27年度補正予算） 29
- 3. 地方創生推進交付金（平成28年度当初予算） 31
- 4. 地方創生推進交付金（平成29年度当初予算） 33

I. にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略について

1. にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略の概要

平成26年11月に制定された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、国は、少子高齢化等による人口減少や東京圏への過度な一極集中がもたらす地域経済の縮小の克服に向け、具体的施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。

これを受け、本町においても平成27年10月に「人口ビジョンにゅうぜん」及び『にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略』（以下、総合戦略とする）を策定し、各施策の取組みを進めてきた。

戦略の目指す将来像

◇人口の自然減を緩やかにする

めざすべき合計特殊出生率を人口置換水準である 2.07 とする

◇人口の社会減からの脱却

選ばれるまちづくりで転入超過の実現を目指す

■基本目標1 しごとづくり

産業の活性化を促し、安定した雇用を創出する

【数値目標】

- 町民の町内事業所就業率
- 町民以外の町内事業所就業率
- 町民一人あたり所得

■基本目標2 ひとの流れづくり

入善町に新しいひとの流れをつくる

【数値目標】

- 入善UIサポートセンターを通じた移住世帯数
- 観光入込客数
- 社会増減

■基本目標3 結婚・出産・子育てしやすい地域づくり

若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる

【数値目標】

- 人口千人あたりの婚姻件数
- 人口千人あたりの出生件数
- 合計特殊出生率

■基本目標4 まちづくり

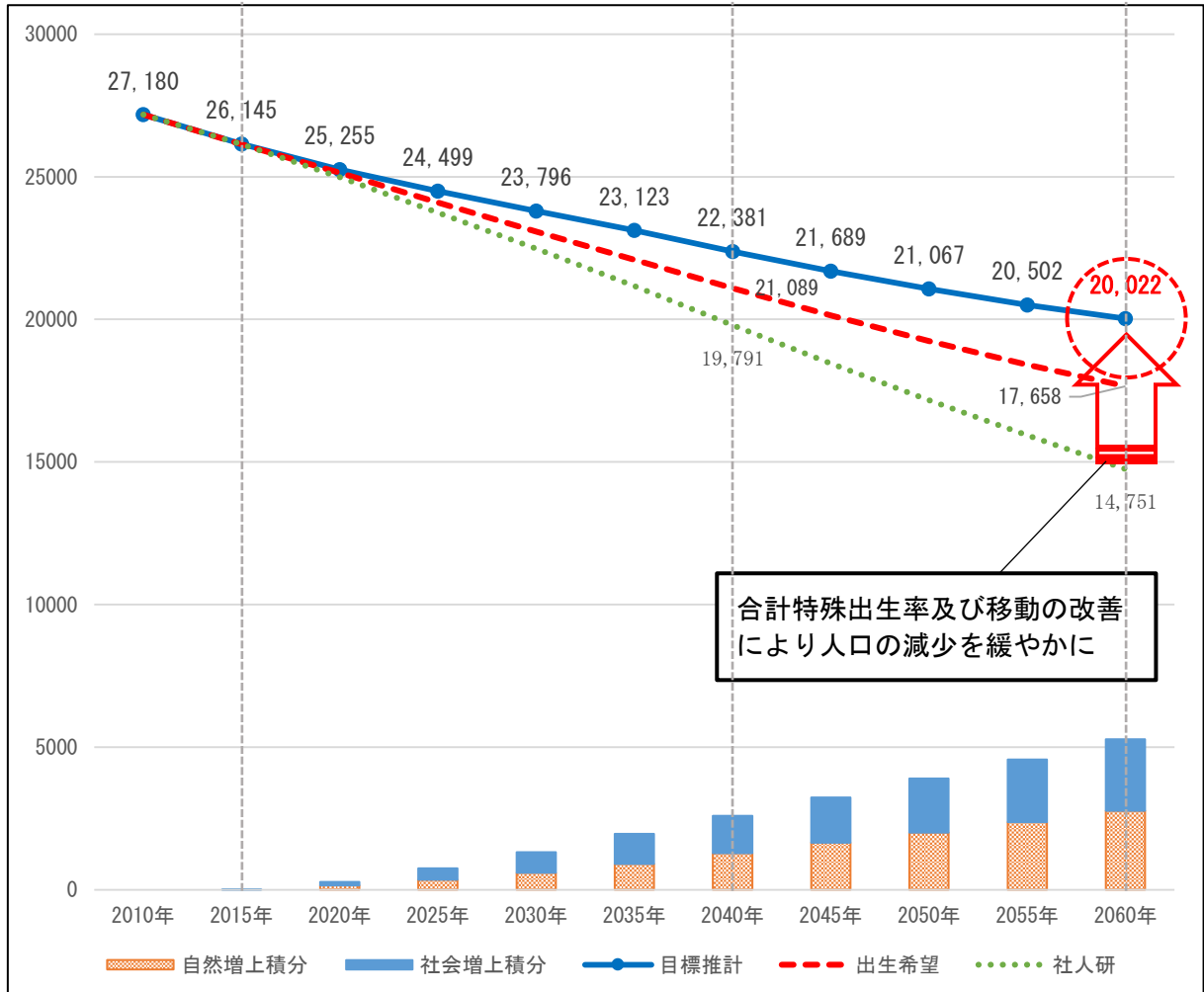
扇状地の恵まれた環境の中で、豊かで安心して暮らせるまちをつくる

【数値目標】

- アンケートによる住民満足度
- 町民一人あたり医療費
- 介護保険の認定を受けていない人の割合

◇入善町が目指す将来人口

2060年（45年後）の人口 **20,000人** を目指します。



2. 効果検証について

策定後も、評価指標に基づき、住民をはじめ「産」「官」「学」「金」「労」「言」等が連携し、施策や事業の効果検証や見直しを図ることとしている。

【にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略より抜粋】

(5) 計画のフォローアップ

本戦略の推進に当たっては、住民をはじめ「産」「官」「学」「金」「労」「言」等が情報を共有しながら連携を図り、「入善で暮らしたい希望をかなえるまちづくり」の実現に向けて、町全体が一体となって取り組んでいきます。

また、実行性を確保しつつ、効果的に推進するため、基本目標ごとに数値目標を掲げるとともに、施策ごとに重要業績評価指標（KPI）を設定して、PDCAサイクルによるマネジメントシステムを確立し、施策や事業の効果検証や見直しを図り、人口減少の克服に対して挑戦していきます。

Ⅱ. にゅうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略の効果検証について

1. 平成29年度効果検証の概要

(1) 数値目標の効果検証

総合戦略における4つの柱に掲げる12項目の数値目標について、計画最終年度（平成31年度）の目標達成に向けた進捗状況を5段階で評価した。

| | 数値目標 | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|---------------|--|-------------------|-------------------|--------------|--------------------|
| 基本 目標 1 | 町民の町内事業所就業率 | 54.3% (H22) | 53.1% (H27) | 60.0% | 要努力 |
| | 町民以外の町内事業所 就業率 | 31.5% (H22) | 32.4% (H27) | 35.0% | 達成可能 |
| | 町民一人あたり所得 | 2,700千円 (H23) | 3,136千円 (H26) | 3,077千円 | 既に達成 |
| 基本 目標 2 | 入善UIサポートセンタ ーを通じた移住世帯数 (計画期間内累計) | 0世帯 (H26) | 41世帯 (H29) | 10世帯 | 既に達成 |
| | 観光入込客数 | 659,233人 (H26) | 691,819人 (H29) | 780,000人 | 達成可能 |
| | 社会増減 | △148人 (H26) | △69人 (H28) | 現状から 30人増 | 既に達成 |
| 基本 目標 3 | 人口千人あたりの 婚姻件数 | 3.2件 (H25) | 3.3件 (H28) | 4.4件 | 要努力 |
| | 人口千人あたりの 出生件数 | 5.8件 (H25) | 5.7件 (H28) | 7.3件 | 要努力 |
| | 合計特殊出生率 | 1.38 (H26) | 1.38 (H26) | 1.60 | ※H30年度に 公表される予定 |
| 基本 目標 4 | アンケートによる 住民満足度 | 60.8% (H26) | 60.8% (H26) | 80.0% | ※H31年度に 実施する予定 |
| | 町民一人あたり医療費 (国民健康保険) | 351,540円 (H25) | 395,104円 (H28) | 350,000円 | 要努力 |
| | 介護保険の認定を受けて いない人の割合(65歳以上) | 81.5% (H26) | 81.4% (H29) | 82.0% | 要努力 |

(2) KPIの効果検証

総合戦略における4つの柱に掲げる47項目の重要業績評価指標（KPI）について、計画最終年度（平成31年度）の目標達成に向けた進捗状況を5段階で評価した。

| | 既に達成 | 達成可能 | 要努力 | 達成は困難 | その他 | 計 |
|--------|-------------|-------------|-------------|---------|-----------|--------------|
| 基本目標 1 | 1 7.7% | 4 30.8% | 8 61.5% | 0 0% | 0 0% | 13 100.0% |
| 基本目標 2 | 4 57.1% | 0 0% | 3 42.9% | 0 0% | 0 0% | 7 100.0% |
| 基本目標 3 | 8 57.1% | 2 14.3% | 3 21.4% | 0 0% | 1 7.2% | 14 100.0% |
| 基本目標 4 | 4 30.8% | 4 30.8% | 5 38.4% | 0 0% | 0 0% | 13 100.0% |
| 計 | 17 36.2% | 10 21.3% | 19 40.4% | 0 0% | 1 2.1% | 47 100.0% |

2. 基本目標ごとの効果検証

| | |
|---------------|------------------------------|
| 基本目標 1 | 産業の活性化を促し、安定した雇用を創出する |
|---------------|------------------------------|

産業の振興により、若者から高齢者まで、それぞれの年代のライフスタイルやライフサイクルに合わせた雇用ニーズに応え、安定した雇用の創出を図り、すべての町民の『働きたい』を実現するまちを目指します。

| 数値目標 | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|-------------------|------------------|------------------|--------------|-------------|
| 町民の町内事業所就業率 | 54.3% (H22) | 53.1% (H27) | 60.0% | 要努力 |
| 町民以外の町内事業所 就業率 | 31.5% (H22) | 32.4% (H27) | 35.0% | 達成可能 |
| 町民一人あたり所得 | 2,700千円 (H23) | 3,136千円 (H26) | 3,077千円 | 既に達成 |

【総合分析】

「町民の町内事業所就業率」については微減、「町民以外の町内事業所就業率」については微増となっており、目標を達成するため、町の基幹産業である農業をはじめとした、地域資源を活かした地場産業の持続的な発展と優良企業の誘致、経営安定に向けた設備投資や雇用促進などに対するきめ細やかな支援を行い、町民や移住者を支えるための「しごと」の確保を推進する。

また、「町民一人あたり所得」については、すでに目標を達成していることから、農商工連携や6次産業化による特産品の高付加価値化の推進や販路拡大への支援、企業においては、新設や増設、設備投資に対する支援の充実を図ることで経営の安定につなげ、すべての町民の所得の向上を目指す。

施策① 農水産業の振興と高付加価値化の推進

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|--------------------------------|----------------|----------------|--------------|------|
| 新規就農者数および新規漁業 就業者数（計画期間内累計） | 5人 (H26) | 28人 (H29) | 30人 | 達成可能 |
| 農地流動化率 | 54.4% (H26) | 59.5% (H29) | 62.6% | 達成可能 |
| 認定農業者数 | 125 (H26) | 126 (H29) | 150 | 要努力 |

【効果検証】

●「新規就農者数および新規漁業就業者数」—目標を達成するペースである。

農業振興においては、新規就農者や町特産品後継者の育成に対する支援、水産業振興においては、漁業新規就業者に対する奨励金や定住に対する支援などを行っており、その効果が現れている。今後は、引き続き、奨励金の交付や国・県等の事業の活用を図るとともに、町内農業者のグローバルGAP取得や入善ジャンボ西瓜の地理的表示（GI）保護制度登録など、全国に引けを取らない入善町の取組みを広くPRし、就農・就漁を推進する。

●「農地流動化率」—目標を達成するペースである。

農地の利用集積と集約化を促進するため、担い手の経営規模拡大に対する支援や、入善町農業公社と連携して農地の流動化を進めており、それらの効果が現れている。今後は、引き続き、関係機関と連携し、国・県等の事業の活用も図りながら、農地の流動化を進め、効率的かつ生産性の高い農業経営を推進する。

●「認定農業者数」—目標達成ペースには至らないものの、減少傾向から増加に転じた。

認定農業者数については、平成27年度に「123」となり、基準値を下回ったが、平成28年度には「126」となり、微増となった。指標は横ばい傾向にあるものの、認定農業者への農地集積率（転作受託含む）は年々増加していることから、担い手の経営規模は拡大し、農業の振興が図られている。今後は、引き続き、新規就農者に対する支援を行い、就農を推進するとともに、担い手の経営規模拡大に対する支援を行い、認定農業者数の増加につなげていく。

施策② 地域産業の活性化

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|------------------------------|-----------------|-----------------|--------------|------|
| 町内事業所数 | 1,112社 (H24) | 1,157社 (H26) | 1,120社 | 既に達成 |
| 企業立地助成金新規交付件数 (計画期間内累計) | 0件 (H26) | 1件 (H29) | 5件 | 要努力 |
| 町内企業設備投資による 雇用者数(計画期間内累計) | 0人 (H26) | 24人 (H29) | 60人 | 達成可能 |

【効果検証】

●「町内事業所数」－すでに目標を達成している。

平成26年「経済センサス基礎調査」によると、すでに目標値を達成している。計画期間前の測定による達成となるが、今後も引き続き、新規起業に対する支援を行う「起業チャレンジ応援事業」や事業後継者に手厚く支援する「元気な商店街再生事業」などを実施し、さらなる事業所数の増加を図る。

●「企業立地助成金新規交付件数」－目標を達成するペースに至らないものの、事業は積極的に活用されている。

現在の指標値は「1件」であるが、計画期間後に企業立地助成制度を活用する予定の企業が3件あることから、助成制度は積極的に活用されているといえる。平成30年度には、中小企業に加え、大企業の設備投資に対する支援制度を創設するなど、企業ニーズに合った支援を行うことで、町内企業の経営の安定化を図る。

●「町内企業設備投資による雇用者数」－目標を達成するペースである。

町の支援制度を活用した町内企業の設備投資が盛んに行われ、着実に雇用者数も増えていることから、目標は達成可能である。平成30年度には、新たに「大企業生産拠点設備投資促進事業」を創設し、企業の設備投資を促すことで、さらなる雇用者数の増加を図る。

施策③ 企業誘致の促進

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|----------------------------|-------------|--------------|--------------|------|
| 新規立地企業数 (計画期間内累計) | 1社 (H26) | 1社 (H29) | 2社 | 要努力 |
| 新規立地企業による雇用者数 (計画期間内累計) | 7人 (H26) | 28人 (H29) | 60人 | 要努力 |
| 地方拠点強化推進事業認定数 (計画期間内累計) | 0社 (H26) | 0社 (H29) | 1社 | 要努力 |

【効果検証】

- 「新規立地企業数」－目標を達成するペースに至らないため、施策の改善が必要である。

現在のところ計画期間中に新たに立地する企業はないものの、引き続き、町の地域特性である地震や台風などの自然災害の少なさや、勤勉な町民性、清らかで豊富な地下水、強固で広大な地盤など、町の強みを最大限に生かした企業誘致活動を積極的に推進し、新たな企業の誘致を図る。また、平成30年度には、新たに「大企業生産拠点設備投資促進事業」を創設することから、その周知を図るとともに、粘り強くトップセールスを続け、企業の誘致と、それに伴う雇用者数の増加を図る。

- 「新規立地企業による雇用者数」－目標を達成するペースに至らないため、施策の改善が必要である。

(同上)

- 「地方拠点強化推進事業認定数」－実績なし。

国の制度である「地方拠点強化税制」は、地方へ本社機能を移転した企業に対して、税制の優遇措置を行うものであるが、制度活用のためには、企業が本社機能を移転するという意向が必須であることから、引き続き制度の周知を行うとともに、企業からの情報収集や情報交換を通じて、ニーズがあれば事業の活用を促し、支援していきたい。

施策④ 商業の活性化とまちのにぎわいづくり

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|---------------------|------------------|------------------|--------------|------|
| 新規創業件数 (計画期間内累計) | 0件 (H26) | 5件 (H29) | 15件 | 要努力 |
| 市街地活性化イベント 来場者数 | 70,250人 (H26) | 65,600人 (H29) | 100,000人 | 要努力 |

【効果検証】

- 「新規創業件数」－目標を達成するペースに至らないため、施策の充実が必要である。

「起業チャレンジ応援事業」や「元気な商店街再生事業」を実施し、新規創業を支援しているが、出店意向者と物件提供者のニーズが合わないことから、入善町での新規創業を見送る人が多く、指標が伸び悩んでいる状況である。引き続き、両者のニーズを捉え、きめ細やかなマッチングを行うとともに、中心商店街に必要とされている商業・サービス業に対する支援を行う「まちなか賑わい再生事業」を新たに実施し、指標の改善に努める。

- 「市街地活性化イベント来場者数」－目標を達成するペースに至らないため、施策の改善が必要である。

「ラーメンまつり」や「まつりんぴっく」の来場者数を見ると微増傾向にあるが、「入善ふるさと七夕まつり」が天候に恵まれなかったこともあり、大幅に減少し、平成29年は基準値を下回った。それを踏まえても、目標値の達成には、施策のさらなる充実を図る必要があることから、平成30年度には、市街地におけるにぎわい創出イベントの開催に対する支援を拡充するとともに、商工会とも連携しながら、イベント内容を工夫するなど、魅力の向上を図り、指標の改善を目指す。

施策⑤ 働きやすい雇用環境の整備

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|-------------------------------|----------------|----------------|--------------|------|
| 女性の町内就業率 | 55.1% (H22) | 53.5% (H27) | 57.0% | 要努力 |
| 就職マッチングセミナーの 参加者数（計画期間内累計） | 77人 (H26) | 367人 (H29) | 500人 | 達成可能 |

【効果検証】

- 「女性の町内就業率」－目標を達成するペースに至らないため、施策の改善が必要である。

女性の就業率は増えているものの、近隣市町を就業地とする者の割合が増えているため、指標が減少している。この改善を図るため、女性の就業率が高い業種のマッチングフェアへの積極的参加を促すとともに、ワークライフバランスを推進し、女性が子育てと仕事を両立できる職場環境の創造を目指す。

- 「就職マッチングセミナーの参加者数」－目標を達成するペースである。

これまで通算6回の「入善町人材マッチングフェア」を実施し、参加者数も着実に増加しており、30件を超える採用につながっている。引き続き、年2回の人材マッチングフェアを開催し、企業の採用動向や経済状況などを踏まえ、開催時期や内容などを工夫し、指標の向上を図るとともに、すべての町民の「働きたい」の実現を目指す。

| | |
|--------------|-------------------------|
| 基本目標2 | 入善町に新しいひとの流れをつくる |
|--------------|-------------------------|

「選ばれるまち」として、まちの魅力を創出・発信することにより、「にゅうぜんファン」の増加を図るとともに、本町への新たな人の流れをつくり、定住・交流人口の拡大を目指します。

| 数値目標 | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|------------------------------------|-------------------|-------------------|--------------|------|
| 入善U1サポートセンターを通じた 移住世帯数（計画期間内累計） | 0世帯 (H26) | 41世帯 (H29) | 10世帯 | 既に達成 |
| 観光入込客数 | 659,233人 (H26) | 691,819人 (H29) | 780,000人 | 達成可能 |
| 社会増減 | △148人 (H26) | △69人 (H28) | 現状から 30人増 | 既に達成 |

【総合分析】

「入善U1サポートセンターを通じた移住世帯数」については、U1サポートセンターを核として、「情報発信」「移住体験」「移住・定住支援」の施策を総合的に推進した効果が現れ、目標値を大幅に達成している。

「社会増減」については、基準値である平成26年度の「△148人」と比べると指標値は大幅に改善しており、事業の効果が発現している。また、平成28年の人口移動調査（10/1～9/30）では、社会増減が「△2人」となり、社会増の実現の兆しが見えたところである。目指す将来像である「人口の社会減からの脱却」を実現させるためには、さらなる施策の推進が必要であることから、今後も移住・定住促進に努めていく。

「観光入込客数」については、「入善 牡蠣ノ星」や「にゅうぜん浜マルシェ」のオープンなどにより、深層水パークに新たな人の流れが生まれ、指標は増加傾向にある。今後は、短期的には、イベント内容の工夫を行うなど、魅力向上を図るとともに、長期的には、入善町の海岸部に点在する魅力的な観光スポットを有機的に結ぶ「シーサイドロード（仮称）」の整備などを行い、多くの観光客が訪れるよう取り組みを進めていく。

施策① 観光・交流の推進

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|---------------|-------------------|-------------------|--------------|-----------------|
| 里山温泉観光施設宿泊者数 | 13,728人 (H26) | 15,307人 (H29) | 15,000人 | 既に達成 |
| 町内イベントの来場者数 | 172,672人 (H26) | 197,565人 (H29) | 200,000人 | 既に達成 (H28達成) |
| 海洋深層水パークの来客者数 | 27,737人 (H26) | 66,606人 (H28) | 30,000人 | 既に達成 |

【効果検証】

●「里山温泉観光施設宿泊者数」－目標を達成している。

施設の指定管理者である入善里山観光開発(株)による利用者のニーズを捉えた宿泊プランの設定などの柔軟な経営戦略や、町で実施した「手足ぬくもり ひばり野湯」の整備、「舟見山自然公園線」の拡幅などの施設周辺環境整備により、指標が年々向上し、目標値が達成された。今後は、施設の長寿命化や機能向上について、計画的な実施を検討する。

●「町内イベントの来場者数」－平成28年度に目標を達成している。

平成28年の指標は「218,917人」であり、目標値を達成している。平成29年は一部イベントが天候不良により中止になったことで、前年よりも減少したものの、個々のイベント来場者数は年々増加していることから、引き続き、全国的にも高い評価を受けている「にゅうぜんフラワーロード」を開催するとともに、商工会が実施するイベントに対する支援の充実を図り、指標の向上を目指す。

●「海洋深層水パークの来客者数」－目標を達成している。

「入善 牡蠣ノ星」や「にゅうぜん浜マルシェ」のオープンや「深層水かき祭り」などの新たなイベントの開催により、指標が大幅に向上し、目標値を達成した。引き続き、深層水の利活用を促進するとともに、海洋深層水パークをはじめとした、海岸部に点在する魅力的な観光スポットを有機的に結ぶ「シーサイドロード（仮称）」の整備を進め、さらなる来客者数の増加を図る。

施策② にゅうぜんブランドの創出とPRの促進

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|------------------------|-------------|-------------|--------------|------|
| 農商工連携・6次産業化による特産品開発数 | 7品 (H26) | 9品 (H29) | 20品 | 要努力 |
| 入善ブランド認定数 (計画期間内累計) | 0件 (H26) | 0件 (H29) | 50件 | 要努力 |

【効果検証】

- 「農商工連携・6次産業化による特産品開発数」－目標を達成するペースに至らないため、施策の充実が必要である。

事業の周知が不十分であることや、事業を活用して特産品開発に取り組む事業者が少ないため、指標が伸びていない状態である。今後は、広報や行政番組の活用はもとより、商工会や農協などと連携し、事業者への周知を強化するとともに、事業者のニーズ把握に努めながら、支援対象とする農林水産物等の見直しなども含め、事業内容を検討していきたい。

- 「入善ブランド認定数」－目標を達成するペースに至らないため、施策の改善が必要である。

農商工連携による特産品開発として「ブランド化推進事業」を行っており、「入善ジャンボ西瓜サイダー」や「入善ブラウンラーメン」などを支援したものの、「入善ブランド認定数」については、実績がないことから、指標が増加していない状況である。今後は、農商工連携や6次産業化による特産品開発などの事業との連携を図りながら、特産品のブランド化を推進するとともに、「入善ブランド認定事業」の実施に向け、認定方法などの具体的内容の検討を進めていく。

施策③ 受け入れ体制の充実と定住の促進

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|-------------------------------|-------------|-----------------|--------------|------|
| 定住・しごとポータルサイト アクセス数（1月あたり） | 0件 (H26) | 1,183件 (H29) | 3,000件 | 要努力 |
| CCRC事業による移住者数 (計画期間内累計) | 0人 (H26) | 106人 (H29) | 50人 | 既に達成 |

【効果検証】

- 「定住・しごとポータルサイトアクセス数」－目標を達成するペースに至らないため、施策の充実が必要である。

指標値の達成度が5割以下にとどまっていることから、事業の改善が必要である。平成30年度においては、移住・定住情報サイトを改修し、移住定住アドバイザーが発信する地域情報ページの充実やアクセスしやすいレイアウトへの変更など、移住希望者が手軽に情報を取得できるよう努める。また、SNS等を活用し、移住希望者に対して直接情報発信を行い、サイトへのアクセスを促す。

- 「CCRC事業による移住者数」－目標を達成している。

地方創生関連交付金等を活用しながら、UIサポートセンターを核として、「情報発信」「移住体験」「移住・定住支援」の施策を総合的に推進した効果が現れ、目標値を達成している。今後も、「生涯活躍のまち」構想の基本的方針である「首都圏等の高齢者が希望に応じ地方に移り住み、多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくり」の考え方に同調しつつ、高齢者のみならず、多様な世代の移住・定住を促進し、社会増の実現を目指す。

| | |
|--------------|----------------------------------|
| 基本目標3 | 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる |
|--------------|----------------------------------|

若い世代が希望通り結婚し、安心して妊娠・出産・子育て・教育ができるよう、地域ぐるみで子どもを産み育てやすいまちを目指します。

| 数値目標 | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|------------------|---------------|---------------|--------------|----------------------------|
| 人口千人あたりの 婚姻件数 | 3.2件 (H25) | 3.3件 (H28) | 4.4件 | 要努力 |
| 人口千人あたりの 出生件数 | 5.8件 (H25) | 5.7件 (H28) | 7.3件 | 要努力 |
| 合計特殊出生率 | 1.38 (H26) | 1.38 (H26) | 1.60 | ※H30年度に 公表される予定 |

【総合分析】

「人口千人あたりの婚姻件数」と「人口千人あたりの出生件数」については、基準値からほぼ横ばいの状況であり、さらなる施策の推進が必要である。

「合計特殊出生率」については、平成30年度に公表される予定の「人口動態保健所・市区町村別統計」により、指標の計測を行う予定である。

結婚を促すための取組みとしては、「それ行け！結婚プロジェクト」として、婚活イベントや婚活セミナーを定期的で開催するほか、結婚祝い金の贈呈や新婚世帯の新居入居費等への支援を継続して行うとともに、平成30年度には、結婚記念証の交付に加え、新たに記念撮影用フォトパネルの設置や、ディスプレイ用台紙、記念用婚姻届の交付を行うなど、結婚に対する機運の醸成を図る。

出産・子育てに対する支援については、子育て世代包括支援センターを中心に、保健師や助産師を母子保健コーディネーターとして、相談・ケア体制の充実を図るとともに、子育て支援センター事業の充実や保育料軽減による子育て世帯の経済的負担のさらなる軽減など、ライフステージごとに「切れ目のない支援」を行い、子どもを産み育てる環境の充実を図る。

施策① 結婚促進に対する支援

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|------------------------------|-------------|---------------|--------------|------|
| 婚活イベントでのカップル 成立数（計画期間内累計） | 0組 (H26) | 89組 (H29) | 50組 | 既に達成 |
| 婚活サークル参加者数 (計画期間内累計) | 0人 (H26) | 131人 (H29) | 100人 | 既に達成 |
| お見合い会員登録者数 | 0人 (H26) | 61人 (H29) | 100人 | 達成可能 |

【効果検証】

●「婚活イベントでのカップル成立数」－目標を達成している。

婚活パーティを通算12回開催し、事業の効果が現れたことで、目標を達成した。今後は、引き続き、「それ行け！結婚プロジェクト」を積極的に展開し、婚姻数の増加につなげる。

●「婚活サークル参加者数」－目標を達成している。

婚活サークルを通算7回開催し、合計13組のカップルが誕生しており、事業の効果が現れている。今後は、引き続き、「それ行け！結婚プロジェクト」を積極的に展開し、婚姻数の増加につなげる。

●「お見合い会員登録者数」－目標を達成するペースである。

指標は、増加傾向にあるものの、伸び悩みの状況であるため、更なる施策の推進が必要である。今後は、事業のPRを強化するとともに、「入善世話やき隊」との連携を深め、さらなる会員登録者数の増加を図る。

施策② 妊娠・出産に対する支援

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|---------------------------|---------------|---------------|--------------|------|
| 出産・育児に不安を抱える女性への切れ目のない支援率 | 個別事業 として実施 | 100% (H29) | 100% | 既に達成 |
| 不妊、不育治療費助成件数 | 26件 (H26) | 50件 (H29) | 50件 | 既に達成 |
| 出産祝い品支給件数 | 0件 (H26) | 120件 (H29) | 180件 | 要努力 |

【効果検証】

- 「「出産・育児に不安を抱える女性への切れ目のない支援率」—目標を達成している。

平成28年度に妊娠期から子育て期まで、切れ目なく総合的な相談や支援を行うワンストップ拠点として「子育て世代包括支援センター」を設置したことで、目標値を達成した。引き続き、相談・ケア体制のさらなる充実を図り、町全体が安心して産み育てることができる「ゆりかご」となることを目指す。

- 「「不妊、不育治療費助成件数」—目標を達成している。

平成28年度から「不妊検査」「一般不妊治療」を助成対象に加えたことで、指標が大幅に向上し、目標を達成した。平成30年度からは、さらに支援を充実し、すべての不妊治療を対象に治療費の自己負担額を1割とすることで、経済的な負担の軽減を図り、すべての夫婦が希望する子どもの数を持つことを目指す。

- 「「出産祝い品支給件数」—目標を達成するペースに至らないため、施策の充実が必要である。

出生数の減少に伴い、指標値も減少傾向である。出産に対する支援としては、子育て世代包括支援センターを中心に産前産後における相談・ケア体制の充実を図るとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、これまでの多子保育料の軽減に加え、平成30年度からは第1子の保育料についても4分の1を軽減し、夫婦の「産みたい」の気持ちを様々な面から支援し、出生数の増加を図る。

施策③ 子育て支援の充実

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|---------------|----------------|---------------|--------------|------|
| 第3子以降の出生数 | 24人 (H26) | 26人 (H29) | 30人 | 達成可能 |
| 保育所の入所待機児童数 | 0人 (H26) | 0人 (H29) | 0人 | 既に達成 |
| 0歳児保育の実施割合 | 73.5% (H26) | 100% (H29) | 100% | 既に達成 |
| 早朝・延長保育の実施割合 | 60% (H26) | 100% (H26) | 100% | 既に達成 |
| 休日保育の実施 | 未実施 | 実施 | 実施 | 既に達成 |

【効果検証】

●「第3子以降の出生数」—目標を達成するペースである。

指標値については、基準値から着実に増加しており、平成28年度には「29人」となったことから、事業の効果が現れている。引き続き、子宝支援事業や保育料の軽減により、多子世帯の経済的負担の軽減を図るとともに、すべての夫婦が希望する子どもの数を持つことを目指す。

●「保育所の入所待機児童数」—目標値を達成している。

保育所の統合などにより、保育所の機能強化を図るとともに、「0歳児保育」「早朝・延長保育」「休日保育」といった子育て世帯の多様なニーズに対応した保育サービスを充実するなど、安心して子どもを預けることができる環境の整備を進める。

●「0歳児保育の実施割合」—目標値を達成している。

(同上)

●「早朝・延長保育の実施割合」—目標値を達成している。

(同上)

●「休日保育の実施」—目標値を達成している。

(同上)

施策④ 郷土愛あふれる教育の推進

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|--------------------------------|----------------|----------------|--------------|-------------------|
| 将来も入善町に住みたい と思う若者の割合（19歳以下） | 40.7% (H26) | 40.7% (H26) | 60.0% | ※H31年度に 実施する予定 |
| 成人式参加率 (基準値は過去10年の平均) | 88.7% | 84.2% (H29) | 95.0% | 要努力 |

【効果検証】

- 「将来も入善町に住みたいと思う若者の割合」一指標の計測ができず達成状況は不明である。

平成31年度に町民アンケートを実施し、指標の計測を行う予定である。

- 「成人式参加率」一目標を達成するペースに至らないため、施策の改善が必要である。

成人式参加率については、平成28年度に「90.9%」と向上したものの、平成29年度には、基準値を下回り減少傾向となった。短期的な取組みとしては、成人式の周知方法の検討や内容の見直しによる魅力向上を図り、長期的な取組みとしては、黒部川扇状地フィールドミュージアム事業などを通し、学校だけでなく、家庭や地域における「ふるさと教育」を推進し、町民の郷土愛の醸成を図る。

施策⑤ 仕事と生活の調和の実現

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|--|--------------|--------------|--------------|------|
| 子育て応援企業認定数（基準値は元気とやま子育て応援企業数） (計画期間内累計) | 14社 (H26) | 15社 (H29) | 30社 | 要努力 |

【効果検証】

- 「子育て応援企業認定数」—目標を達成するペースに至らないため、施策の充実が必要である。

指標である「元気とやま！子育て応援企業」は県が実施している事業であるため、引き続き、県と連携しながら、町内事業所に対する周知を図るなど、指標の改善に努めたい。町としては、入善町役場における「イクボス宣言」や男女共同参画フォーラムにて「イクメン・イクジイ・カジダン写真展」を開催するなど、ワークライフバランス実現に向けた取組みを推進しており、引き続き、仕事と生活の調和の実現に向け、施策の充実を図る。

| | |
|--------------|--|
| 基本目標4 | 扇状地に恵まれた環境の中で、豊かで安心して暮らせるまちをつくる |
|--------------|--|

扇状地の恵まれた環境の中で、安心して快適な生活環境を創出し、誰もが健康でいきいきと心豊かに生活できるまちを目指します。

| 数値目標 | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|--------------------------------|-------------------|-------------------|--------------|-------------------|
| アンケートによる 住民満足度 | 60.8% (H26) | 60.8% (H26) | 80.0% | ※H31年度に 実施する予定 |
| 町民一人あたり医療費 (国民健康保険) | 351,540円 (H25) | 395,104円 (H28) | 350,000円 | 要努力 |
| 介護保険の認定を受けて いない人の割合 (65歳以上) | 81.5% (H26) | 81.4% (H29) | 82.0% | 要努力 |

【総合分析】

「アンケートによる住民満足度」については、平成31年度に町民アンケートを実施し、指標の計測を行う予定である。

「町民一人あたり医療費」については、国民健康保険に加入する高齢者の割合が増えていることから、年々、増加している傾向である。また、「介護保険の認定を受けていない人の割合」についても、高齢者割合の増加に伴い、指標が改善されていない状況である。

これら指標の改善を図るため、町では、「健康寿命の延伸」を目指し、施策の重点化を図っており、生活習慣病の予防や改善を図る「減塩いいね！プロジェクト」、検診の受診や健康教室等への参加を促す「健康ポイント事業」などを実施し、健康づくりの推進に努めている。

施策① 健康づくりの推進

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|-----------------------|----------------|----------------|--------------|------|
| 生活習慣を改善している人の割合 | 42.5% (H26) | 38.3% (H28) | 50.0% | 要努力 |
| 介護保険認定者の割合 (65歳以上) | 18.5% (H26) | 18.6% (H29) | 18.0% | 要努力 |

【効果検証】

- 「生活習慣を改善している人の割合」－目標を達成するペースに至らないため、施策の改善が必要である。

特定健診質問票の集計からは、「改善するつもりである」と答えた人が増加しているものの、指標である「改善している」と答えた人が減少傾向にあることから、改善のための行動を促す必要がある。引き続き、イベントや出前講座を通して普及啓発を行うとともに、平成30年度には、「減塩いいね！プロジェクト」において、塩分測定器の購入に対する支援などを行い、多くの人が改善に取り組むことができるよう支援する。

- 「介護保険認定者の割合」－目標を達成するペースに至らないため、施策の改善が必要である。

高齢者割合の増加に伴い、指標が改善されていない状況である。引き続き、生涯現役めざし隊や地域運動指導リーダーの養成・育成を行い、地域の集い場であるサロンの運営を支援するとともに、平成30年度には、支援が必要な高齢者を早期に把握するための基本チェックリストの活用や、おもりを利用した筋力トレーニング「いきいき100歳体操」の普及などを新たに実施し、さらなる介護予防の推進を図る。

施策② 医療・福祉の充実

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|------------------------|----------------|----------------|--------------|------|
| 医療機関新規立地数 (計画期間内累計) | 0施設 (H26) | 1施設 (H29) | 1施設 | 既に達成 |
| サービス付き高齢者向け 住宅数 | 1施設 (H26) | 2施設 (H29) | 2施設 | 既に達成 |
| ケアネットチーム数 | 91チーム (H26) | 84チーム (H29) | 115チーム | 要努力 |

【効果検証】

●「医療機関新規立地数」－目標を達成している。

平成28年2月に医療法人社団秋桜丸川病院が新規開業したため、目標を達成した。引き続き、「入善町地域医療体制整備事業」を実施し、病院等の新設、増設を支援するとともに、町内医療機関のニーズを把握し、きめ細やかな支援を行い、地域医療体制の強化・充実を図る。

●「サービス付き高齢者向け住宅数」－目標を達成している。

平成29年5月に株式会社ささや木がサービス付き高齢者向け住宅を開設したため、目標を達成した。今後は、国・県等の交付金も活用しながら、介護サービス供給施設の整備等を推進し、高齢者が安心して快適な暮らしが続けられるよう高齢者住宅・福祉施策に取り組む。

●「ケアネットチーム数」－目標を達成するペースに至らないため、施策の改善が必要である。

ケアネット事業は入善町社会福祉協議会が実施主体となって、地域住民と連携し、支援が必要な高齢者などの状況把握に努めるもので、近年は、ケアネットを必要としない人が増えており、指標値が減少している。一方で、見守りなどのケアネット活動を行う回数は増加傾向にあり、今後、さらなる高齢化の進展により、要介護者の増加が想定されることから、ケアネットチームによる見守り体制の強化はますます重要となる。入善町では、地域包括ケアシステムの構築を進めており、ケアネット事業をはじめとした地域における支え合いの推進が重要視されていることから、さらなる普及啓発に努めていきたい。

施策③ 犯罪や災害のないまちづくりの推進

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|-------------------------|---------------|---------------|--------------|------|
| 自主防災組織数 | 22組織 (H26) | 22組織 (H29) | 40組織 | 要努力 |
| 犯罪発生件数 (入善警察署管内) | 94件 (H26) | 83件 (H29) | 大幅減少 | 達成可能 |
| 特殊詐欺被害届出件数 (入善警察署管内) | 5件 (H26) | 2件 (H29) | 0件 | 達成可能 |

【効果検証】

●「自主防災組織数」ー増加していないため、施策のさらなる充実が必要である。

入善町は大きな災害が少なく、町民の災害危機管理に対する意識があまり高くないことから、新たな組織化に至っていないのが現状である。今後は、今年度更新した防災マップを活用し、出前講座による普及啓発や地区ワークショップなどの防災活動の充実を図り、その機会を捉え、新たな組織化を働きかける。

●「犯罪発生件数」ー目標を達成するペースである。

平成29年は基準値を下回っており、事業の効果が現れているが、平成28年においては「67件」となっており、平成29年は増加傾向にある。指標のさらなる改善を図るため、町内全地区における防犯カメラの設置や防犯パトロール活動に対する支援など、地域ぐるみによる犯罪抑止力の向上を目指す。

●「特殊詐欺被害届出件数」ー目標を達成するペースである。

特殊詐欺被害届出件数や被害金額については、減少しており、事業の効果が現れている。今後も、引き続き、高齢者宅への通話録音装置の貸し出し、広報や回覧板での情報提供や注意喚起を促すことで、消費者行政のさらなる強化を図る。

施策④ より快適な生活基盤の整備

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|-----------------|----------------|------------------|--------------|------|
| 新幹線アクセス路線バス利用者数 | 565人 (H26) | 6,000人 (H29) | 12,000人 | 要努力 |
| デマンド交通利用者数 | 0人 (H26) | 12,000人 (H29) | 15,000人 | 達成可能 |
| 都市計画公園整備率 | 85.7% (H26) | 100% (H29) | 100% | 既に達成 |

【効果検証】

- 「新幹線アクセス路線バス利用者数」－目標を達成するペースに至らないため、施策の充実が必要である。

観光としての「入善新幹線ライナー」利用者数は増加傾向にあるものの、一部企業の撤退などにより、ビジネスとしての利用客数が減少傾向にあるため、指標値も減少傾向となっている。今後は、さらなるビジネス利用の促進や新たな客層・地域を取り込むことを目的として、平成30年度に実証実験を行い、利用者のニーズに沿った運行体系の見直しを検討する。

- 「デマンド交通利用者数」－目標を達成するペースである。

様々な機会を捉えて、広く周知を図ることで、高齢者を中心に登録者数・利用者数が増加している。平成30年度には、実証実験として、新たな予約システムの導入や運行時間の拡大、停留所の増設等を行い、利用状況の変化を分析しながら、さらなる利便性の向上を図り、利用者数の増加を目指す。

- 「都市計画公園整備率」－目標を達成している。

平成28年度の下上野公園整備により、すべての都市計画公園の整備が完了した。総合戦略策定時には公園整備計画はなかったものの、住民ニーズの高まりに依じて、現在は中央公園の整備を進めており、引き続き、子どもたちや高齢者をはじめ、利用者が安心して利用することができる居心地の良い公園づくりを目指す。

施策⑤ 支え合う地域づくり

| 重要業績評価指標（KPI） | 基準値 | 実績値 | 目標値 (H31) | 達成状況 |
|----------------------|------------------|------------------|--------------|------|
| 地域コミュニティ活動団体数 | 131団体 (H26) | 131団体 (H29) | 131団体 | 既に達成 |
| ボランティア活動数 (団体・個人) | 1,643団体 (H26) | 1,710団体 (H29) | 1,740団体 | 達成可能 |

【効果検証】

● 「地域コミュニティ活動団体数」ー目標を達成している。

地域コミュニティ活動団体に対する支援として「地区振興補助金」や「コミュニティ・パートナーシップ構築事業」、「元気な地区づくり応援事業」などを実施し、コミュニティの維持に努めてきた。今後は、少子高齢化が進むことで、コミュニティの重要性はさらに増すことから、地域のニーズを把握しながら、時代にあった柔軟な支援を検討したい。

● 「ボランティア活動数」ー目標を達成するペースである。

入善町社会福祉協議会を実施主体とし、各地区のボランティアサポーターと連携しながら、ボランティア活動等の支援を行っており、指標値については、年々増加している。今後も、引き続き、町民のボランティア意識の醸成を図るため、普及啓発や活動に対する支援を行う。

Ⅲ. 国の支援制度を活用した事業の効果検証について

1. 地方創生先行型交付金（地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金）

（i）基礎交付分（平成26年度補正予算）

交付金額：31,037千円（実績額）

対象事業：地方版総合戦略の策定に先行して行う事業であって地方版総合戦略に位置づけられる見込みの事業

- ①入善町総合戦略計画策定事業
- ②観光Wi-Fi整備事業、Wi-Fi整備補助金
- ③中小企業設備投資促進事業補助金
- ④デマンド交通運行事業

（ii）上乘せ交付分（タイプⅡ）（平成27年度補正予算）

交付金額：10,000千円（実績額）

対象事業：地方版総合戦略の早期策定に伴う地方版総合戦略推進のための事業

- ⑤地場水産物活用促進事業（「入善 牡蠣ノ星」の整備に対する支援）

（1）重要業績評価指標（KPI）の効果検証

| 事業 No. | 重要業績評価指標（KPI） | 実績値 （H28） | 目標値 （H27） | 事業効果 | 【参考】実績値 （H27） |
|-----------|------------------------------|--------------|--------------|----------|------------------|
| ② | 観光Wi-Fi整備施設利用者の30%の 接続 | 26,264件 | 15,750件 | B | 77件 |
| | Wi-Fi整備補助金交付件数 | 1件 | 4件 | | 1件 |
| ③ | 中小企業設備投資促進事業補助金 による新規雇用者数 | 13人 | 10人 | A | 13人 |
| ④ | デマンド交通利用者数 | 10,852人 | 12,000人 | C | 5,625人 |
| ⑤ | 「入善 牡蠣ノ星」来客者数 | 30,925人 | 25,000人 | A | 23,321人 |
| | 地場水産物活用促進事業による 新規雇用者数 | 5人 | 4人 | | 5人 |

※【事業効果】 地方創生に非常に効果があった・・・A 地方創生に相当程度効果があった・・・B
地方創生に効果があった・・・C 地方創生に効果がなかった・・・D

(2) 今後の方針

②観光Wi-Fi整備事業、Wi-Fi整備補助金－地方創生に相当程度効果があった

「観光Wi-Fi利用件数」は大幅に目標値を上回っており、事業実施が地方創生に効果的であったといえる。一方、目標値を下回った「Wi-Fi整備補助金交付件数」については、今後の国内外からの観光客やビジネス客等、交流人口の拡大を見据え、快適に情報を収集・発信できる環境を整えるため、民間宿泊施設等へのさらなる周知を図りながら、事業を継続する。

③中小企業設備投資促進事業補助金－地方創生に非常に効果があった

目標値を達成しており、事業の効果が発現しているといえる。地域を支える中小企業者の設備投資の促進と、地域の雇用創出に非常に効果的であり、今後も事業を継続する。

④デマンド交通運行事業－地方創生に効果があった

目標値を約1割下回っているものの、様々な機会を捉えて、広く周知を図ることで、着実に登録者数・利用者数が増えている。実績値をさらに向上させるためにも、平成30年度には、実証実験として、新たな予約システムの導入や運行時間の拡大、停留所の増設等を行い、利用状況の変化を分析しながら、さらなる利便性の向上を図り、利用者数の増加を目指す。

⑤地場水産物活用促進事業－地方創生に非常に効果があった

目標値を達成しており、事業の効果が発現しているといえる。「入善 牡蠣ノ星」の整備完了に伴い、本事業は完了となるが、今後は「かき祭り」イベントに対する支援等を通して、さらなる来客者数の増加を図る。

2. 地方創生加速化交付金（平成27年度補正予算）

（i）「生涯活躍のまち入善」加速化事業（単独）

交付金額：36,808,593円（実績額）

対象事業：

- 生涯活躍のまち構想策定支援
- 移住希望者移住体験事業
- 全町型デマンド交通の導入
- 企業PR・イメージアップ促進事業
- 入善UIサポート事業
- 北陸新幹線2次交通整備事業
- 移動困難者等買い物支援事業

（ii）DMOを核とした観光振興施策の展開（広域）

交付金額：1,200,300円（実績額）

事業内容：DMO登録法人である公益社団法人とやま観光推進機構による客観的データ分析に基づくマーケティングの提案や観光商品の造成

（iii）首都圏情報発信拠点を核とした、とやま魅力発信戦略（広域）

交付金額：2,677,856円（実績額）

事業内容：東京にある日本橋とやま館でのPRイベント「入善町チューリップminiフラワーロード展」の開催

（1）重要業績評価指標（KPI）の効果検証

| 事業No. | 重要業績評価指標（KPI） | 当初値 （H26） | 実績値 （H28） | 目標値 （H28） | 達成状況 |
|-------|---------------------------|--------------|--------------|--------------|----------|
| （i） | 「生涯活躍のまち入善」事業による移住者数 | 0人 | 46人 | 20人 | B |
| | サービス付き高齢者向け住宅入居者数 | 36人 | 40人 | 70人 | |
| | 新幹線アクセス路線バス利用者数 | 565人 | 6,752人 | 9,000人 | |
| | デマンド交通利用者数 | 0人 | 10,852人 | 9,000人 | |
| （ii） | 県内延べ宿泊者数 | 3,489千人 | 3,991千人 | 4,000千人 | — |
| （iii） | 定住・しごとポータルサイトアクセス数（1月あたり） | 0件 | 1,656件 | 1,000件 | A |

※【事業効果】 地方創生に非常に効果があった・・・A 地方創生に相当程度効果があった・・・B
地方創生に効果があった・・・C 地方創生に効果がなかった・・・D

(2) 今後の方針

(i) 「生涯活躍のまち入善」加速化事業－地方創生に相当程度効果があった

「『生涯活躍のまち入善』事業による移住者数」については、U I サポートセンターを核として、「情報発信」「移住体験」「移住・定住支援」の施策を総合的に推進した効果が現れ、目標値を達成している。今後も、「生涯活躍のまち」構想の基本的方針に同調しつつ、高齢者のみならず、多様な世代の移住・定住を促進し、社会増の実現を目指す。

「デマンド交通利用者数」については、様々な機会を捉えて、広く周知を図ることで、着実に登録者数・利用者数が増え、目標値を上回った。実績値をさらに向上させるためにも、平成30年度には、実証実験として、新たな予約システムの導入や運行時間の拡大、停留所の増設等を行い、利用状況の変化を分析しながら、さらなる利便性の向上を図り、利用者数の増加を目指す。

一方、「サービス付き高齢者向け住宅入居者数」については、目標値を下回ったものの、平成29年5月に新たに1施設(35戸)が整備されており、今後、目標値を達成することが見込まれる。引き続き、国・県等の交付金も活用しながら、介護サービス供給施設の整備等を推進し、高齢者が安心して快適な暮らしが続けられるよう高齢者住宅・福祉施策に取り組む。

また、「新幹線アクセス路線バス利用者数」については、観光としての「入善新幹線ライナー」利用者数は増加傾向にあるが、一部企業の撤退などにより、ビジネスとしての利用客数が減少傾向にあるため、目標値を下回っている。平成30年度には、さらなるビジネス利用の促進や新たな客層・地域を取り込むことを目的として実証実験を行い、利用者のニーズに沿った運行体系の見直しを検討する。

(ii) DMOを核とした観光振興施策の展開

※(公社)富山県観光連盟に設置予定の「マーケティング戦略委員会(仮称)」において、効果検証を行う。

(iii) 首都圏情報発信拠点を核とした、とやま魅力発信戦略

－地方創生に非常に効果があった

「定住・しごとポータルサイトアクセス数」が目標値を上回っており、事業実施が地方創生に効果的であったといえる。今後も、引き続き、首都圏PRイベントの実施やポータルサイトの改善等に取り組みながら、移住希望者に対して魅力発信を行う。

3. 地方創生推進交付金（平成28年度当初予算）

(i) 移住3大要素「結・職・住」の強化による定住促進事業（単独）

計画期間：平成28年度～平成30年度

交付金額：13,348,495円（実績額）

対象事業：

- 地域コミュニティ活性化事業
- 特産品栽培新規就農支援事業
- 介護職員初任者研修開催事業
- 親子フェスタ開催事業
- サービス付き高齢者向け住宅数整備促進事業
- 映像コンテンツ制作・発信

(ii) まちのしごと力向上事業（単独）

計画期間：平成28年度

交付金額：2,500千円（実績額）

事業内容：事業検討調査費用

（交付金を活用し、地方創生に資する新たな事業の検討・調査を行う）

⇒黒部川扇状地フィールドミュージアム事業

(1) 重要業績評価指標（KPI）の効果検証

| 事業No. | 重要業績評価指標（KPI） | 当初値 (H28) | 実績値 (H28) | 目標値 (H28) | 達成状況 | 最終目標値 (H30) |
|-------|--------------------------------|--------------|--------------|--------------|----------|----------------|
| (i) | 本事業による移住者数 (計画期間内累計) | 0人 | 46人 | 50人 | B | 150人 |
| | サービス付き高齢者向け住宅 入居者数（計画期間内累計） | 36人 | 40人 | 40人 | | 70人 |
| | 新規創業・就農者数 (計画期間内累計) | 0人 | 9人 | 10人 | | 30人 |
| (ii) | 指標なし | — | — | — | — | — |

※【事業効果】 地方創生に非常に効果があった・・・A 地方創生に相当程度効果があった・・・B
 地方創生に効果があった・・・C 地方創生に効果がなかった・・・D

(2) 今後の方針

(i) 移住3大要素「結・職・住」の強化による定住促進事業

ー地方創生に相当程度効果があった

「サービス付き高齢者向け住宅入居者数」については、目標値を達成したものの、「本事業による移住者数」と「新規創業・就農者数」については、指標を1割程度下回った。これらの指標の改善を図るために、平成29年度実施事業からは、地方創生加速化交付金の「『生涯活躍のまち入善』加速化事業」の一部事業をさらに推進させるため、「移住3大要素『結・職・住』の強化による定住促進事業」に新たに加えることとした。

(ii) まちのしごと力向上事業

地方創生に資する新たな事業の検討・調査を行うこととしており、指標はないものの、地方創生推進交付金を活用し、黒部川扇状地フィールドミュージアム事業として、平成29年度に基本計画を策定した。平成30年度においては、事業のさらなる事業の推進を図るため、基本計画に基づき、拠点となる施設の整備に向けた取組みをさらに進めるほか、バーチャルリアリティなどの映像技術を活用して町を紹介する映像コンテンツを制作し、町内外に向けて魅力発信を行う。

4. 地方創生推進交付金（平成29年度当初予算）

(i) 移住3大要素「結・職・住」の強化による定住促進事業（単独）

計画期間：平成28年度～平成30年度

交付金額：31,600千円（交付決定額）

対象事業：

- 地域コミュニティ活性化事業
- 特産品栽培新規就農支援事業
- 介護人材確保事業
- 親子フェスタ開催事業
- 映像コンテンツ制作・発信
- 入善UIサポート事業
- 北陸新幹線2次交通整備事業
- 全町型デマンド交通の導入
- 移動困難者等買い物支援事業
- 企業PR・イメージアップ促進事業

(ii) 「海のあるスイス」をめざすALL富山観光プロジェクト

～マーケティングとブランディングによる選ばれ続ける観光地づくり～（広域）

計画期間：平成28年度～平成32年度

交付金額：1,703千円（交付決定額）

事業内容：○戦略的な観光地域づくり ○富山らしい魅力創出
 ○戦略的なプロモーション

(1) 重要業績評価指標（KPI）の効果検証

| 事業No. | 重要業績評価指標（KPI） | 当初値 (H28) | 実績値 (H29見込) | 目標値 (H29) | 達成状況 | 最終目標値 |
|-------|--------------------------------|--------------|----------------|--------------|----------|------------------|
| (i) | 本事業による移住者数 (計画期間内累計) | 0人 | 67人 (2月末時点) | 100人 | B | 150人 (H30) |
| | サービス付き高齢者向け住宅 入居者数(計画期間内累計) | 36人 | 66人 (2月末時点) | 60人 | | 70人 (H30) |
| | 新規創業・就農者数 (計画期間内累計) | 0人 | 17人 (2月末時点) | 20人 | | 30人 (H30) |
| (ii) | 観光消費額 | 1,896億円 | 計測中 | 1,982億円 | — | 2,110億円 (H32) |
| | アンテナショップへの 来館者数 | 508千人 | 計測中 | 900千人 | | 1,150千人 (H32) |
| | 県立美術館等の年間来館者数 | 397千人 | 計測中 | 450千人 | | 520千人 (H32) |

※【事業効果】 地方創生に非常に効果があった・・・A 地方創生に相当程度効果があった・・・B
 地方創生に効果があった・・・C 地方創生に効果がなかった・・・D

(2) 今後の方針

(i) 移住3大要素「結・職・住」の強化による定住促進事業

ー地方創生に相当程度効果があった

「サービス付き高齢者向け住宅入居者数」については、本交付金を活用し、平成29年5月に株式会社ささや木がサービス付き高齢者向け住宅を開設したため、目標を達成した。今後は、国・県等の交付金も活用しながら、介護サービス供給施設の整備等を推進し、高齢者が安心して快適な暮らしが続けられるよう高齢者住宅・福祉施策に取り組む。

「本事業による移住者数」と「新規創業・就農者数」については、平成28年度から目標値を下回っており、改善が見られないことから、さらなる施策の強化が必要である。

「本事業による移住者数」については、U I サポートセンターを核として、「情報発信」「移住体験」「移住・定住支援」の施策を総合的に推進した効果が現れているが、目標値を下回っている。平成30年度からは、新たに町内の空き家を町が賃借して、移住希望者が滞在可能な移住体験住宅を設置するとともに、これまで東京で開催してきた移住相談会を、関西方面でも開催し、移住希望者の掘り起こしに努めることで、移住定住を促進し、目標値の達成を目指す。

「新規創業者数」については、「起業チャレンジ応援事業」や「元気な商店街再生事業」を実施し、新規創業を支援しているが、出店意向者と物件提供者のニーズが合わないことから、入善町での新規創業を見送る人が多く、目標値を下回っている。両者のニーズを捉え、きめ細やかなマッチングを行うとともに、平成30年度からは中心商店街に必要な商業・サービス業の創業者に対して、重点的に支援を行う「まちなか賑わい再生事業」を新たに実施し、目標値の達成を目指す。

また、「就農者数」については、新規就農者や町特産品後継者の育成に対する支援の効果が現れている。引き続き、奨励金の交付や国・県等の事業の活用を図るとともに、町内農業者のグローバルGAP取得や入善ジャンボ西瓜の地理的表示(GI)保護制度登録など、全国に引けを取らない入善町の取組みを広くPRし、就農を推進することで、目標値の達成を目指す。

(ii) 「海のあるスイス」をめざすALL富山観光プロジェクト

～マーケティングとブランディングによる選ばれ続ける観光地づくり～

※(公社)とやま観光推進機構の「マーケティング戦略委員会」において、効果検証を行う。